



## 同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一  
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316  
☎048-977-5441 FAX048-977-2031  
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>



校長  
柳町 道廣

## 新たな一歩に向けて

去る6月27日、第18回同窓会総会・懇親会が例年通り開催されました。今年はいにくの悪天候もあつて例年に比べると若干参加者が少なめでありましたが、**副校長**、**先生**、**先生**も駆けつけてくださり、大いに盛り上がった懇親会となりました。

中でも**先生**のご挨拶の中で、本校の基本姿勢に話が及び、「年がら年中弓を張りつめた生き方ではなく、メリハリのしかりできる柔軟な人間の形成を目指すのが獨協埼玉の教育コンセプトであり、それが今でも変わらず維持されているのがうれしい。」とおっしゃってくださいました。今春も、長い間本校の教育に貢献された**先生**が定年退職なさり寂しい限りですが、今年1年は後進への引き継ぎの意味で非常勤として活躍してくれています。いずれにしても、これまで本校の校風をしつかり繋いでくれた先輩諸兄、卒業生の期待を裏切ることのないよう、ぶれることのない基本理念を今後も脈々と保持し続けなければならぬという思いを新たにするとともに、

35周年を終え、今年には次の40周年に向けて新たなスタートを切る年です。本校は、その記念事業を兼ねて、向こう一兩年を目途に、グランドの人工芝化を計画しています。他校に誇れる広大な敷地をさらに魅力あるものにすべく、なんとか実現したいものです。その節は、皆さん、どうぞ足を運んでくださり、母校の発展に向けての勇姿に



同窓会会長  
玉山 栄一

## 同窓会

「最近『同窓会』の役割ってなんだろう」とふと思うことがあります。母校である獨協埼玉も、昨年、開校35周年を迎え、同窓会の会員数も、33期11,815名となり、幅広い年代の会になりました。どんなに時が流れても変わらないのが、母校で過ごした3年間、もしくは、6年間という月日とそこで出会った仲間との思い出です。同窓会も、どんなに時が流れても変わらずに、同窓生の親睦を深めるとともに、母校や後輩たちへの後援をしていく会であり続けることが大切なのではないかと思えます。

横のつながりとして開催している、20歳を祝する「まほろばの会」、「ホームカミングデー」40歳になったら学校へ行こう！も、皆様のご協力により、毎年、大いに盛り上がる会となっています。同窓生にとってはもちろん、先生方にとっても、懐かしいあの時に戻ること、在学中とはまた違う横のつながりをもつていただければと思います。

もうひとつは、学年の垣根を超えた縦のつながりを強めるために、同窓会としてできることは何かを、さらに考えていきたいと思えます。普段の生活のなかでは離れている同窓生を結びつけるために、ホームページの充実やインターネット動画配信など、今の時代だからこそできる情報提供を考えていきたいと思えます。

これからも同窓会が横と縦のつながりを深める役として、同窓生の皆様のお手伝いができますよう、より一層活動に力を入れていく所存です。改めまして、今後とも同窓会にご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、33期11,815名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。同窓会の事業運営費として、1期・17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については会報の発送を段階的に停止させていただくことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願いする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお申し込み申し上げます。

獨協埼玉高等学校同窓会  
玉山 栄一  
※1期・11期までは、今年度より発送を停止させていただきます。



## スピーチコンテスト

獨協埼玉では、平成25年度から、高校1年生による「英語スピーチコンテスト」が行事となり、昨年の12月15日(月)に第2回「英語スピーチコンテスト」が行われました。生徒たちは、まず、英会話の夏休みの宿題で、「私が尊敬する人物」についてのスピーチ原稿を書き、2学期の英会話の授業で予選を行いました。その後、各クラスから22名の生徒が選ばれ、「本選」で英語スピーチを披露しました。定期考査の勉強などで忙しい中、一生懸命スピーチの練習を行い、本番に臨み、約500名の観衆の中、堂々とスピーチをしていました。練習の成果を出せた生徒にとっても、そうでなかった生徒にとっても、とても良い経験になったことでしょう。

スピーチコンテストを終えて、普段見られないような生徒の一面をみることでできました。人前で話すことさえ慣れない中、英語を大衆の前で話す姿はとても輝いて見えました。スピーチをした生徒は、この経験を自信に変え、よりいっそう勉学に励んでほしいと願っています。観衆の生徒も、仲間の頑張りに刺激を受け、意欲的に勉強するこを期待しています。

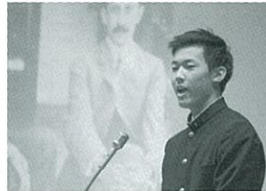
スピーチコンテストはまだ歴史の浅い行事です。この行事が代々引き継がれ、生徒たちにとって、仲間の頑張りを発見できるような行事になってほしいと願っています。獨協埼玉の英語教育のますますの発展に向け、力を入れていく所存です。これからも、応援のほど、よろしくお願い致します。

### 優勝した生徒の発表原稿

Hi I am [REDACTED]  
I have a dream.  
I want to be a pilot and fly all over the world.  
When I was 5 years old, I got on an airplane for the first time.  
I was impressed with a big machine flying in the sky.  
And I thought "I want to steer this."  
Since then, I have been dreaming of becoming a pilot all the time.  
Well, do you know who invented an airplane?  
I will tell you about the story.

It was the Wright brothers who developed an airplane  
Wilbur Wright, the older brother was born in 1867.  
Orville Wright, the younger brother was born in 1871.  
They grew up in Dayton, Ohio in the United States of America.  
They developed the airplane while working in a bicycle shop.  
And they succeeded in the world's first man-powered flight in the Wright Flyer in 1903.  
They founded the Wright Company in 1909.  
And it became Lockheed Martin as we know it today.

"What is right now can be wrong years later. Conversely, what is wrong now, can be right years later".  
This is a wise remark by the Wright brothers.  
I think that I believe these words and want to become an excellent pilot like the Wright brothers.  
Thank you for listening.



## 国際交流

### 1 サンフランシスコ DOMINICAN UNIVERSITY 語学研修 (22日間)

募集対象は高校2年生で、毎年夏休みに実施。サンラファエル市内でホームステイをし、大学での習熟度別・多国籍ESL授業を受ける。週末には観光などのアクティビティも用意されている。添乗員と引率教員あり。



### 2 オーストラリア PENOLA CATHOLIC COLLEGEへの訪問 (2週間)

募集対象は高1・2学年から計15名程度。隔年で実施のため、本年度の募集はなし。姉妹校生徒の本校訪問の際の受け入れ生徒を優先としたうえで、「選考」によりメンバーを決定。メルボルン市でホームステイ、ESL授業、現地校授業参加、3泊4日のシドニー研修も行う。



### 3 ドイツ STEINBART GYMNASIUM 研修 (2週間程度)

募集対象は高1～3学年から15名。隔年で実施で、11月中旬には募集開始。姉妹校生徒の本校訪問の際の受け入れ生徒を優先としたうえで、「選考」によりメンバーを決定。デュイスブルク市内でホームステイ。現地校の授業に参加。オランダやベルギーでの各種アクティビティも実施。



### 4 ニュージーランド LEVIN INTERMEDIATE SCHOOL 訪問 (2週間)

募集対象は中学3年生。毎年実施を予定。11月より15名程度を募集し、L.I.S.の本校訪問の受け入れ生徒を優先としたうえで、「選考」によりメンバーを決定。レヴィン市でのホームステイ、ESL授業、現地授業参加、南島訪問など各種アクティビティを実施。





# 〆体育祭〆に想いをのせて

体育委員が結束し、よりよい体育祭にしようと2002年度から体育祭本部のスタッフシャツを作成してきました。スタッフシャツは、毎年体育祭の本部の3年生が、よりよい体育祭にしようとスタッフの意気込みを漢字一文字に表しています。

STAFFの文字が逆さまになっているのは、裏方に徹し充実した体育祭を作り上げようという想いが込められています。

2015年度は「凜」という字に決定をしました。今年の「凜」という字は、背筋を伸ばし、姿勢を正し、凜とした佇まいで臨むという想いを込めて決めました。今年の3年生は、行事に対し皆で協力し一生懸命準備をして自覚を持って取り組もうとやってきました。そういったこと

が良い形で表れた体育祭だったと思います。また、生徒だけではなく3年生の教員の結束もすごく感じられた体育祭でした。体育祭も受験もチームとなって乗り越えようという教員の熱い決意が生徒にも伝わり、そうしたことも素晴らしい体育祭へと繋がったのだと思います。

今年の思いが「凜」という言葉に表されていたように、今までの体育祭本部の思いがどのような漢字で表されているのかを調べてみました。調べた結果を見てみるとその年ごとの思いが詰まっているのがよくわかります。諸先輩方の思いをしっかりとこれからも繋げていけるよう、そして生徒主体で創り上げる体育祭をこれからさらにすばらしいものにできるよう頑張りたいと思います。

|        |        |
|--------|--------|
| 2002 喝 | 2009 繫 |
| 2003 極 | 2010 迅 |
| 2004 獅 | 2011 愛 |
| 2005 舞 | 2012 激 |
| 2006 瞬 | 2013 煌 |
| 2007 響 | 2014 蓮 |
| 2008 欄 | 2015 凜 |



## 第36回 蛙鳴祭

9月19日(土)・20日(日) 10:00~15:00

### 蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

同窓生の皆様、今年も蛙鳴祭の季節がやってきました。今年のテーマはDotta Magic!です。

中学生・高校生によるMagicalな企画が盛りだくさんです。ぜひ楽しんでいただけたらと思います。

| 第一体育館       | 9月19日(土)   | 第一体育館       | 9月20日(日)   |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 10:30~11:30 | 高校演劇部      | 10:30~11:10 | 高校3年1組     |
| 11:30~12:25 | コーラス部      | 11:10~11:40 | ソングリーディング部 |
| 12:25~12:55 | ソングリーディング部 | 11:40~12:35 | コーラス部      |
| 12:55~14:10 | 吹奏楽部       | 12:35~13:35 | 高校演劇部      |
| 14:10~14:50 | 3年1組       | 13:35~14:50 | 吹奏楽部       |

入試ミニ説明会  
(小ホールにて)

中学 9月19日(土)  
11:00~12:00

高校 9月20日(日)  
11:00~12:00 / 13:00~14:00



# 退職にあたって



Has it really been 30 years? That sounds like a long time ... but where has it gone? Time is a great teacher, and fortunately it also allows children to grow, mature, and disappear into adulthood. I feel really honored to have been part of the teaching profession that teaches all the other professions.

I remember coming to Dokkyo Saitama with only chalk, blackboard, and a mind full of ideas; things to do to make the English language a useful and enjoyable tool to prepare students for the best that life can offer. I thought I was the teacher and you, the students were there to be taught. How wrong I was.

I have been privileged to have had in my classroom many, many fine young people over 30 years I have been learning how to become a better teacher. I thank all of you for teaching me how to teach. I look back now with fond memories of a

profession dedicated to assisting young people achieve their potential and finding the best in themselves.

I must have done something right, as I am now a part-time teacher here until the end of March next year. And as I leave Dokkyo Saitama, I will be taking many of you with me, the good, the bad, and the 'unruly. You will live on in my memories.

I want to pay tribute to my colleagues for their support, friendship and trust. I will always remember our shared laughter, our joys as well as our arguments. Thank-you for allowing me to be a Dokkyo teacher and not just a gaikokujin kazari.

I've been asked what I'm going to do after retirement. Well, I am learning Spanish at Dokkyo University. I am going to travel to places I've always wanted to go. I am going to read books that have been on my 'must read' list for years. I will garden, play with my grandchildren, enjoy building dioramas, and cycle here and there for as long as I can. I am still trying to find the best within me. It is an exciting on-going journey. Thank-you, one and all, for being my traveling companions along the way.

In short, I plan to LIVE long and prosper.

## 新しい風

### 新任教員紹介



世界の『どつたま』から

こんにちは。  
と  
申します。

4月から本校で理科(化学)を担当しています。今年、中1担任・陸上部担当です。これまで、公立の小学校(2年間)、中学校(19年間)にて勤めておりました。心機一転、獨協埼玉で教員生活の後半を充実させ、自己を高め、楽しい学園生活を送りたいと思っています。よろしくお願いいたします。

獨協埼玉中学高等学校での生活も4ヶ月ほど経過しました。明るい生徒が多く、廊下ですれ違うときも挨拶をしてくれる生徒が多くて、うれしく思います。共学の良さ、男子校出身の私には新鮮にうつておることも、ここでお伝えしておきます...

さて、「何かの目標に向かって自分を高める」ことを励行、実践している生徒も多く見受けられ、生徒から学ぶことも

多い日々です。朝7時過ぎから食堂で勉強している生徒、休日でも午後の部活動だけでなく午前中から勉強している生徒、昼休みや終礼後に質問にきて問題解決をする生徒。行事にも精一杯取り組み、よりよい思い出にしようと頑張っている生徒。等々。

一度しかない中学・高校の6年間を、単なる通過点ととらえずに真剣勝負の積み重ねで未来を切り開いていく姿、今後も応援していきたいと思っています。

教室が2階(中1)からスタートして、3階・4階と上がり、後半3年間で戻ってくるという6年間の学校生活。中1と高3が一緒の2階は、青年期のめざましい心身の成長を感じさせてくれます。

また、高1の授業(化学基礎)を担当しておりますが、高校からの外進生と中学からの内進生とで、クラスの雰囲気の違いが、とりわけ、内進生は「馴染んでいる」「授業や生活のパターンができていること」で「のびのびと育っている」と感じます(場合によっては「ゆるんでいる」ように見えることもあります)。

教職員の方々も明るく親切に多くのことを教えてくださり、大変ありがたいと思っております。

生徒へも、教えるべきものは教えつつ、その中でも「自ら考え、判断する」場面を作り出して生徒の成長を促す、生徒を信じる指導をされている姿が多くあり、一貫したぶれない指導の信念を感じます。中でも、本校卒業生でもある先生方は、強い母校愛で生徒(そして後輩)に接し、そして鍛えている。教員としてなかなか巡りあえない瞬間を日々刻まれているのだな...と思っております。

私の小中学校の同級生にも、本校出身で、私よりも素晴らしいし、しき人格の者がおります。お互いの子供が小学校で同じクラスになったこともあり、近況報告もする関係でしたが、私が4月から勤務することを告げると、彼は私に言いました。「後輩たちを頼むよ」と。

この一言から、卒業された方々がいかにも「どつたま生活」を送り、現在も誇りをもって生活しているのが伝わりました。関係する方々のおいしさを大切に、教員としてやることを精一杯実践していきたいと思っております。



# 第18回 同窓会総会・懇親会開催

## 決算・予算報告

### 平成26年度 同窓会決算書

H26年4月1日～H27年3月31日

| 収入の部     |            | 支出の部      |            |
|----------|------------|-----------|------------|
| 前年度繰越金   | 27,936,045 | 次年度繰越金    | 29,383,864 |
| 終身会費卒業生  | 3,480,000  | 総会・懇親会費用  | 663,642    |
| 終身会費既卒生  | 140,000    | 会報費       | 1,137,993  |
| 利息       | 2,458      | 幹事会費      | 20,000     |
| 総会・懇親会会費 | 70,000     | 慶弔費(花束)   | 0          |
| 祝い金      | 20,000     | 事務費       | 0          |
| 雑収入      | 0          | HP関連      | 24,864     |
|          |            | 卒業証書フォルダー | 418,140    |
| 合計       | 31,648,503 | 合計        | 31,648,503 |

### 平成27年度 同窓会予算(案)

| 収入の部       |            | 支出の部      |            |
|------------|------------|-----------|------------|
| 34期生 終身会費  | 3,280,000  | 総会・懇親会費用  | 700,000    |
| H26年度より繰越金 | 29,383,864 | 会報費       | 1,400,000  |
|            |            | 幹事会費      | 30,000     |
|            |            | 慶弔費(花束)   | 30,000     |
|            |            | 卒業アルバム保管用 | 10,000     |
|            |            | 企画費       | 500,000    |
|            |            | 卒業証書フォルダー | 400,000    |
|            |            | HP関連      | 25,000     |
|            |            | ネームプレート   | 40,000     |
|            |            | 予備費       | 29,568,864 |
| 合計         | 32,663,864 | 合計        | 32,703,864 |

今年も暑い中、6月27日(土)に第18回同窓会・懇親会が開催されました。総会では事業報告・会計報告に加え、同窓会役員一部変更・平成27年度事業計画並びに予算案などが承認されました。また、セキュリティ対策として、校内に入る際にひも付きネームブレードの着用が義務付けられる旨の説明がなされました。

その後懇親会では、先生、先生、先生にもご参加いただき、在学されていた当時のお話を聞かせていただきました。今回も卒業して間もない同窓会生に多く参加していただき、年齢関係なく話し合う、活気に満ちた懇親会となりました。学食の導入や、トロフィースペースの設



置等、校内の変更点も多くありますので、学校見学と兼ねて、ぜひ総会と懇親会に足をお運びください。

この度の同窓会では、**前校長を始め、現校長や先生、在任中**お世話になった多くの先生方と旧交を温めることができ、嬉しく存じます。その一方、同世代の先生方が退職された現実、隔世の感否めず、寂しくもありました。

玉山会長を筆頭に、同窓生のご様子は、獨玉卒業生として矜持に輝いており、改めてリベラルな獨協教育の成果を目の当たりにした思いです。

特にA君との再会は一瞬の清涼剤となりました。在学中の彼は一本気、自分で自分の気持ちを持って余しているような面があり、少し気になっていました。しかし、卒業後八年を経て、まるで別人のように成長した姿には愁眉を開くような思いがしました。聞けば今は家業を継いでいるとのこと、時や環境が人を変え、という認識を新たにしたい二時でした。

会開催に向け準備に当たられた幹事さん達に心から感謝申し上げます。

学年主任 大山勉

## まほろばの会 31期 報告

卒業から二年が経とうとしている平成27年2月21日、獨協埼玉高校同窓会の協力のもと、**先生が最後の学年主任を務められた31期生の「まほろばの会」が、行われた。**久し振りに会う級友たちは、制服姿でなかったせい、皆少しづつ大人びていた。在校時の思い出などを話し合ううちに、ついでこの間のように、遠い昔の

ような母校での生活がよみがえり懐かしかった。お世話になった先生方は、最近の悩みについて高校時代と変わらず親身にアドバイスを下さった。青春の三年間を一緒に過ごした私たち、もうそれぞれ別々の環境で生きているけれど、この日の数時間だけ、あの頃の先生とクラスメイトとの時間が戻ったようだった。次に皆が集まるのは、「ホームカミングデー」。40歳になった私たちは、どんなおとなになっているだろう。最後に、今回この会を開催するにあたって協力して下さった、**先生、先生にこの場を借りて感謝申し上げます。**ありがとうございました。

31期生 同窓会幹事一同

## 案内 32期生「まほろばの会」開催について

2016年2月13日(土)午後、懐かしの食堂に集合!

2014年3月に卒業した32期生のみなさん、学年主任であった依田先生をはじめ、担任をして下さった先生方と、20歳をお祝いしましょう!多くの32期生が集うことを楽しみにしています。



「部活動紹介」

なつかしき **あの頃** 第16回  
軽音楽同好会



前任の先生のご退職後、後を引き継がせて頂き今年で3年目となります。「なつかしきあの頃」というコーナーであるにも関わらず、顧問となつて年数が浅いため、過去の軽音の様子に分らないというお粗末な状態です。従いまして、「十年の歩み 獨協埼玉高等学校」と「25年の歩み 獨協埼玉中学高等学校」と2つの記念誌を調べてみました。すると、軽音楽同好会の創設はなんと、獨協埼玉が開校した初年度の1980年(昭和55年)であるとのこと。つまり最古参の同好会ということになります。またその10年後である1990年平成元年)の活動の様子はというと「約50人の会員が4~5人のメンバーでバンドを組み、週3回スタジオを使用して練習する。1年間で文化祭を含め2~3回のコンサートを行う。ジャンルは自由。」(十年の歩み 獨協埼玉高等学校より)とのこと。すなわち、なかなか精力的に活動していたよう。1990年といえはちょうどバンドブーム真盛りで、イカ天が流行していた時代です。おそらく当時の軽音の皆さんもその影響下にあったのではないかと思います。

さて、私が獨協埼玉に奉職をしたのは、2003年。今から12年前となります。当時の軽音はバンドブームも去り、少し元気がなかったように感じられました。校内でのライブは文化祭だけだったように記憶しています。私が初めて卒業させた26期生(2008年度の3年生は3名で、会員数も減少傾向であったよう。

それから10年近く経った現在の軽音とはいえずと、会員数61名、バンド数20の大所帯です。特徴は女の子が多いということです。61名中女子が46名です。現3年生に至つては全員女子です(その傾向は

数年前から続いておりまして、「アニメ」「けいおん」の影響が強いのではないのでしょうか。加えて軽音の生徒は真面目な子が多いです。生徒会のメンバーの大半が軽音です。また国公立志望の生徒もいます。真面目で女の子が多い軽音。軽音といえは不良の巣窟というイメージはいまや見る影もありません。活動内容は年3回新歓1学期末、3学期末の小ホールでの定演ライブに、伝統的文化祭ライブ。文化祭では狭い教室での熱気ムンムンは変わらずですが、それに加えて念願の小ホールでもやれるようになりました。広い会場での3年生最後のライブ。感動もひとしおです。ちなみにライブ以外の普段の活動では、パート練習や全体練習を取り入れ、同級生のみならず、先輩後輩との結びつきも強くなっています。

また校外での活動も盛んです。昨年度から埼玉県高等学校軽音楽連盟に参加しまして、初年度にして県大会出場を果たし(ちゃんと予選もあるのです)委員長特別賞を頂きました(審査員にはゴダイゴのタケカワユキヒデ氏もいます)。バンド名は Naked Samurai Kivi。演奏曲は Red Hot Chili Peppers' Give It Away。あの大台の盛り上がりは未だに軽音楽連盟の語り草になっています。ヴォーカル **〇** の囀りにタケカワユキヒデ氏も反応してくれていました。ちなみに今年は県大会予選の会場になりました。1、2年生を中心に会場設営運営を行い、出場した3年生バンドを精一杯応援しました。

現在の目標は部活動活性化です。生徒一同頑張っています。OB、OGの皆さん、文化祭にいらした際には、是非軽音のライブにお越し下さい。熱い声援をよろしくお願いします。

中山賢

教育実習を終えて

この実習を通して私が学んだことはたくさんあります。その中の一つが「困っている人こそ他人と話す」です。人というのは困ったことがあると視野が狭くなりがちです。かくいう私もそうでした。私は授業が上手く出来ず一人て悩んでいました。しかし一人で悩んでもいい考えは浮かびませんでした。そこでいろいろな先生方に相談したところ、あなま一人て考えていても浮かばなかったであろう助言をたくさん頂くことができました。

となり、獨協埼玉へ恩返しできたらと思います。



3週間の教育実習を終えて、教師という職業の大変さを改めて感じました。初めて、教壇に立ち、教師の立場の私は、どれも生徒だった頃の迷惑をお掛けしていたのか、支えられていたのか痛いほど感じました。また、一枚のプリントに一時間の授業に先生方の苦労や思いがたくさん詰まっているということにようやく気付くことができた。本当に私自身を大きく成長させることができた3週間でした。いつか、教師

この度、社会科で教育実習を行わせていただきました。最初はHRも授業もなかなか上手くいきませんでした。が、ご指導を頂く中で少しずつ成長することができたと思います。生徒に「授業が分かりやすかった」と言ってもらえた時はとても嬉しかったです。

し、その辛さを上回る大きな収穫を数多く得る事ができたのも事実です。中でも、生徒と過ごした授業ホームルーム部活動の時間は掛け替えのないものとなりました。お世話になりました先生方、実習関係者の方々にこの場を借りて心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

5月下旬私は自身の通っていた学舎にも一度通うことになりました。教育実習では、迷惑をかけてしまうことが多かったが、その反面と云うは何ですか、非常に貴重な経験になったことは確かであり、教員という仕事を垣間見る時間を与えてくれた母校には感謝が絶えません。教壇に立ち、見て、知った多くのことを、これからの自分に生かしていけるように、尽力したいと思います。ありがとうございました。

3週間平均睡眠時間3.5時間でした。とてもとても辛かったです。本当に私自身を大きく成長させることができた3週間でした。いつか、教師

3週間の教育実習を終えて、教師という職業の大変さを改めて感じました。初めて、教壇に立ち、教師の立場の私は、どれも生徒だった頃の迷惑をお掛けしていたのか、支えられていたのか痛いほど感じました。また、一枚のプリントに一時間の授業に先生方の苦労や思いがたくさん詰まっているということにようやく気付くことができた。本当に私自身を大きく成長させることができた3週間でした。いつか、教師

3週間平均睡眠時間3.5時間でした。とてもとても辛かったです。本当に私自身を大きく成長させることができた3週間でした。いつか、教師



# INFORMATION

## 中学入試

- ◆募集 男女 160 名
  - ◆学校説明会
    - 第1回 9月27日⑩ 10:00～
    - 第2回 10月25日⑩ 10:00～
    - 第3回 11月22日⑩ 10:00～
    - 第4回 12月12日⑩ 10:00～
  - ◆入試
    - 第1回 1月11日⑨⑩
    - 第2回 1月12日⑨
    - 第3回 1月18日⑨
- ※本校と大宮会場の2会場で実施(第1回)

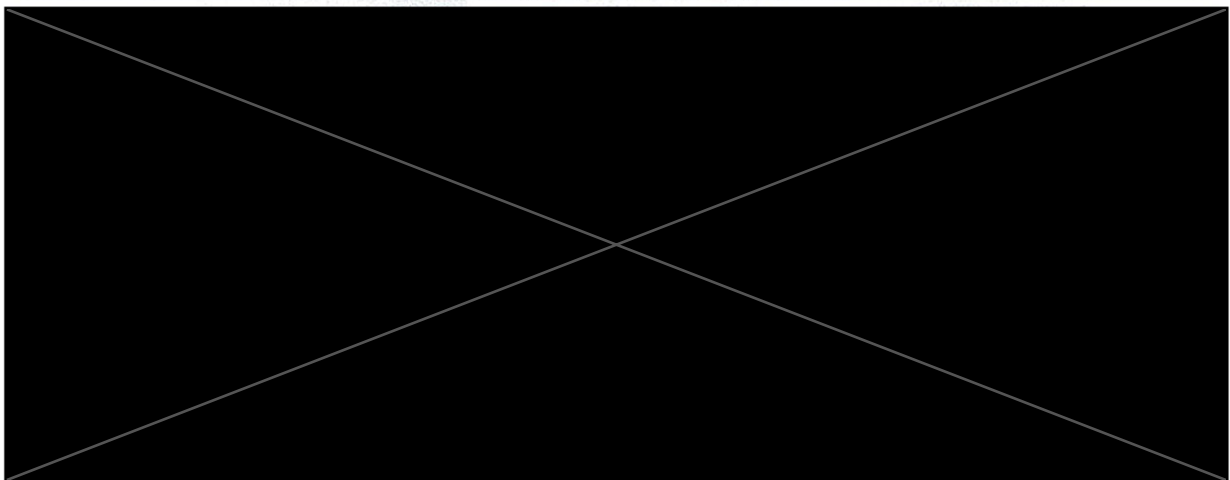
# 入試



## 高校入試

- ◆募集 男女 160 名
  - ◆学校説明会
    - 第1回 9月27日⑩ 13:30～
    - 第2回 10月25日⑩ 13:30～
    - 第3回 11月22日⑩ 13:30～
    - 第4回 12月12日⑩ 13:30～
  - ◆入試
    - 第1回 1月22日⑨
    - 第2回 1月23日⑨
- ※詳細は本校HPでご確認ください。

## 同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)



### 同窓会からのお願い

①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

②住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。

③同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報に適切に保護し、会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供にこれらの情報を利用します。

※なお、情報の提供に同意されない方は、事務局まで届け出てください。

※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

### 会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費(1万円)を納入していただきたく、納入票を同封させていただきます。同窓会の運営資金となります。趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願ひいたします。

※既にお振込みいただいた方には振込用紙は封入されておりません。

獨協埼玉高校  
同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031  
事務局(koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>



# 11期生ホームカミングデー報告

11期生のホームカミングデーには82名の卒業生が母校に集結しました。

卒業以来という同級生もいましたが、22年前の記憶がよみがえりました。お世話になった先生方も出席され、同級生達と当時の話に花が咲き、あっという間の2時間となりました。その後も、2次会3次会と地元せんげん台で盛り上がり、良き同級生に恵まれたことを実感しました。

当日、都合つかず不参加となった方も、同窓会開催の際は是非ご参加ください。

今秋の12期生も盛り上がって獨玉魂みせてください！

(11期生  )



## 会計報告

(収入)  
¥2,000 × 82人  
= ¥164,000  
計 ¥164,000

(支出)  
食事代 ¥107,228  
通信費・事務費 ¥14,361  
花束 ¥12,528  
菓子折り ¥6,757  
計 ¥140,874

(残金)  
¥23,126  
※尚、残金は、31期生まほろばの会に寄付させていただきます。

S50、S51年生まれ

祝! 2nd成人式!

# 12期生ホームカミングデー開催!!

今年40歳を迎える12期生の皆さん(S50、S51年生まれ)、お待ちしております!! 同窓会「ホームカミングデー」の開催です。20歳が大人の仲間入りの歳ならば、40歳は本当の大人として輝く歳です!

そんな記念すべき年に母校で、懐かしい仲間やお世話になった先生方と思いに残る1日を過ごしましょう!!

一人でも多くの参加をお待ちしております!!

日時 平成27年10月10日(土)

- 一次会/受付13:30 開会14:00  
獨協埼玉中学高等学校 小ホール
- 二次会/18:00頃～  
せんげん台駅周辺を予定  
(詳細は後日、ブログ等でお知らせ致します)



実行委員

詳細はこちら!!

専用ブログ  
専用メール

12期生ホームカミングデーブログもご覧下さい!!

<http://dottama1994.seesaa.net/>

[dokkyosaitama.1994.12th@gmail.com](mailto:dokkyosaitama.1994.12th@gmail.com)

Facebook ページ 「獨玉!」

